



ニュースの
疑問が
よく分かる

Economics NEWS Headline

関空がLCC専用ターミナル設置。 激化するLCCと従来の航空会社との競争

Q. LCCが増加することによる消費者のメリットや市場への影響はどのようなものがありますか？

A. 私がお答えします！

経済学部3年(2010年度入学) 河野 康彰 広島・県立福山誠之館高校出身

LCC(格安航空会社)は、大手航空会社が行っている機内サービスやファーストクラスなどの上級座席の提供をしないこと、座席を少し狭くすることなどで安い航空運賃を実現しており、トラブルがあると遅延や欠航、払い戻しができないなどの特徴があります。LCC増加に伴い、関西国際空港などではLCC専用ターミナルなども設置しました。日本では本格的なLCCが就航したのは最近ですが、欧米諸国では何十年も前から利用されていました。LCCの登場は、旅行とビジネスの両面で、アジア諸国との距離をいっそう近くしたと言えます。今後はLCC専用ターミナルを設置する空港が増え、世界のオープンスカイの波に乗っていくと考えられます。LCC増加は利用者にとって航空がよ

り身近になり、サービスや目的によって航空会社を選択することができ、利便性の向上が図れると考えられます。「日本の企業と家計コース」では、企業や経済が消費者にどのような影響を与えているかを学びます。私はゼミで航空、電力など公益事業がどうすれば活性化するのか、また消費者の立場からどうすれば使いやすくなるのかなどを研究しています。ゼミではプレゼンやディベート、フリートークが多く、コミュニケーション力を養うことができます。経済学は電力の買い取り方など、暮らしに直接関係することが多い将来の役に立つ学び。今は経済学をしっかり学びながら、子どもの頃からの夢である航空関係の仕事に就けるよう、言語教育センターで語学もしっかり学んでいます。

■ 私のおすすめ講義



家計経済学

普段の買い物や結婚の判断基準を経済学として考えていく。経済学の概念も変わる身近で面白い講義です。



規制経済論

公的サービスや公益事業を取り上げて、運営方法や消費者の利用しやすい方法など身近な経済を学ぶことができます。

さらに知識を深めるなら
このゼミがおすすめ!



野村 宗訓 ゼミ

インフラ産業を専門とする野村先生は、空港の運営協議会委員も務めているので最新の話を聞くことができます。ディベートも多く、議題についてまとめる力も身につけることができる、自主性の高いゼミです。